

施工段階		着工時		1	設備工事： 施工図・機器製作図等 作成計画	シート番号 1-2
電気	空調	衛生	その他			
○	○	○	—			

施工図等の内容や出来栄によっては建設工事の品質や工程、建設コスト、建物使用開始後のランニングコストやメンテナンス費用にも影響します。
 施工図や機器製作図はできるだけ早く作成準備しましょう。

ポイント

- ・施工に必要な施工図をリストアップし、工事工程に合せた作図工程を作成します。
- ・施工図に反映する情報を事前に工事関係者間で共有します。
- ・施工図作成に必要な情報を集めます。
 (例) 躯体図等の建築図面や他工種の図面や各種製作図、機器製作図等の作成スケジュールを確認します。
- ・各工種間での取合いを行い、設計や発注者の承諾を得るためのスケジュールを計画します。
- ・機器製作図で各機器の製作期間や搬入方法、試運転所要期間などを確認し施工計画に反映します。
- ・施工図には施工上の要点や工夫、材料や数量などについて正確に漏れなく記載します。
- ・作業員が正しく理解でき、効率的に作業できるよう縮尺や寸法、ディテール表記など配慮します。
- ・機器製作図で各機器の寸法や重量、据付方法を確認し、施工図に反映します。

先輩アドバイス

- ・「総合プロット図」を作成し、建築、設備間の設計上の情報を一元化して相互調整しましょう。
- ・BIMを活用して3次元的に納まり調整や合意形成を効率的に行いましょう。
- ・正しく分かり易い施工図が品質確保や作業効率向上に繋がります。
- ・建築に躯体図、天井割付図等の早期提供を要望しましょう。

チェック項目

- いつ頃までにどんな施工図が必要か把握していますか。
- 施工図作成に必要な情報は、各工種間で共有していますか。
- 他工種との取合い、承諾スケジュールは調整済みですか。
- 各機器の発注や製作、搬入など業務工程を把握していますか。
- 正確に漏れなく記載されていますか。
- 分かり易い図面になっていますか。
- 各種機器の情報を反映していますか。

失敗すると...

- ・施工図作成工程や機器製作図準備の遅れが実工程の遅れに繋がります。
- ・施工漏れや間違えた施工により大幅な手戻りや品質低下が発生します。
- ・間違った施工図で部材が足りない、納まらない等の手戻りが発生します。
- ・メンテナンスの難しい設備になり保守費用が増えてしまいます。

施工図一覧表

工事名称	(仮称)〇〇ビル新築工事				
工事種別	□建築・■電気設備・□給排水衛生設備・□空調換気設備・□輸送設備・□				
協力会社	株式会社〇〇電設工業				
図番	図面名称	提出予定日	提出日	承諾日	
E-001	受変電設備 単線結線図	
E-002	受変電設備 引込みケーブル配管配線図	
E-003	受変電設備 機器配置平面図、立面図	
E-004	受変電設備 機器基礎、床下平面図、断面図	
E-005	受変電設備 配管配線図	
E-006	受変電設備 盤据付詳細図	

施工図一覧表の例

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
	○	○	○	○	—	—	○	○	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂	2023年3月1日	